

学校教育目標「故郷を愛し、未来を切り拓く力を備えた児童・生徒の育成」



養徳の森

令和6年2月20日（火）
学校だより 第10号
玉陵中学校長 松本 恒明

「大好き 玉陵」

「命」「人」「心」「物」を大事にする生徒に、そして、「自立貢献」

玉陵のすばらしさを誇りに

～未来に向けて挑戦を～

2月も後半に入り、いよいよ中学校最大の行事である卒業式（3/8）が近づいてきました。その前に公立後期選抜（3/5・6）があります。3年生にとっては、緊張感のある毎日が続いています。また、1・2年生にとっても学年の仕上げと次の学年への準備となる大切な時期を迎えています。

本校の学校教育目標は、「故郷を愛し、未来を切り拓く力を備えた児童・生徒の育成」です。玉陵小学校も同じ目標です。小中合わせた9年間で玉陵の子どもたちに育てたい力と未来への期待が込められています。

この玉陵は、自然豊かな環境が広がり、美しい校区です。学校のすぐ近くには菊池川の清流が流れ、川岸には今菜の花の黄色い絨毯が広がっています。また、日本全国につながる新玉名駅や地域の医療を支える県北病院の拠点施設があるとともに、のどかな田園風景等が続いています。地域の偉人には、オリンピックに出場された金栗四三さんもいらっしゃいます。私は玉陵が大好きです。

この玉陵で生活し、学ぶことは、まさに故郷を愛する心や未来を切り拓く力を育むのに適した環境だと言えます。昇降口前にある記念碑の「学べ」「鍛え」「磨け」の言葉とともに、金栗四三さんが残された「体力・気力・努力」の名言を心に刻み、玉陵の子どもたちが未来に向かって思いっきり挑戦していくことを心から願っています。



自己を見つめ志を立てる

2月1日（木）、2年生を対象とした「立志式」を実施しました。立志式は、古来の「元服の儀」にならったものであり、大人に向かう1つの節目として大切な行事です。これまでの自分を見つめ、これからの生き方を考える重要な機会です。事前に、子どもたちはそれぞれ「私の志」を考え、各学級で発表会を行いました。

立志式当日は、元熊本高等専門学校校長の宮川英明様に「探究の心～ある薩軍兵士の墓標～」という演題でご講演いただきました。子どもたちは、講師の先生の探求心や行動力に大変驚いた様子でした。この玉陵校区が西南の役の戦場となったことを知り、郷土の歴史について新しく学ぶ機会ともなりました。宮川様、ご講演ありがとうございました。

講演後には、各学級代表による力強い「私の志」発表がありました。

【私が特に印象に残った立志】

- 自分に与えられた課題を自分が納得いくまで考えて答えを出す
- 何事にも一生懸命取り組み、辛いことから逃げない人になる
- 今ある殻を破り影響力のある人になる
- いつでも夢を持ち皆を笑顔にする



PTA 後期総会・学年懇談会

2月16日（金）にPTA 後期総会がありました。今年度役員の皆様方、大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。新役員の皆様方、よろしくお願いいたします。